



# 母校の躍進は、卒業生の手で 学院創立120周年を お祝い申し上げます。

校友会 山桜会 会長 川原 俊明

卒業生の皆さん、母校追手門学院は、今年、創立120周年を迎えました。

母校にとって、記念すべき年を、皆さんとともに、喜びを分かち合いたいと思います。

大学卒業生を含め、約7万人の追手門学院卒業生が輩出し、各界で活躍されている現状は、まさに学院創設者高島鞆之助の提唱にかかる「独立自強・社会有為」の精神が、大きく開花したものと言えます。

私たち卒業生は、追手門学院のブランドを一生背負っていく運命にあります。それだけに、母校の発展は、卒業生の願いであるとともに、その発展を支えるのは、ひとえに卒業生の双肩にかかっています。

次の130年、140年の節目には、追手門学院が、今以上に、ひとまわり大きく発展し、関西私学の雄として輝く母校でありたいと思います。

そのためにも、校友会山桜会、大学校友会など、卒業生が力を結集し、母校追手門学院の発展に寄与していこうではありませんか。

## 山桜会会報・学院創立120周年記念座談会 学院の未来と卒業生の 関わりについて

実施日：2008年9月27日  
場 所：追手門学院大学中央棟  
8階会議室

### はじめに

#### 【川原会長】

本日、大変お忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。学院創立120周年を記念して、座談会を開催させていただきたいと存じます。題材は、「学院の未来と卒業生の関わりについて」です。

皆様とご意見を交わしながら、追手門学院の発展を祈念し、卒業生の役割、同窓会のありかた、を考えてみたいと思います。

### ベクトルの結集

#### 【川原会長】

今年の11月7日、大阪城ホールで、学院創立120周年記念式典が執り行われます。その式典で、学院の将来計画「追手門ビジョン120」が発表されます。その経過・内容について、大木理事長、鈴木学院長からご説明をお願いします。

#### 【大木理事長】

今回、将来計画の発表に至ったのは、数年前から創立120年記念事業を進める中で、学院全体のベクトルが合ってきたことにあります。今まで、追手門学院は総合学園ではあるが、どちらかといえば、まとまりが良くなかった。しかし、120年というテーマの中で、見事に意見が一本化された。この際、学院としてのビジョンを明確にし、さらなる発展をどのように遂げていくべきか、建学の精神である独立自強・

### 出席者



大木 令司  
理事長



鈴木 多加史  
学院長



平野 昌雄  
大学校友会会長



川原 俊明  
校友会山桜会会長

### オブザーバー



生川 紳一郎  
広報委員長

社会有為の観点からまとめようとしたのです。

その上で、各学校の意見をまとめ、教職員間のコミュニケーションを図り、教職員の能力開発に力を注ぐ。さらには、卒業生、保護者との関係を強化する。これらをまとめたのが「追手門ビジョン120」です。

#### 【鈴木学院長】

学長として、大学のビジョンを説明します。第一は、教育力の向上です。追手門学院大学としては、特に、学生中心の大学にする。入学したときから、学生に将来の方向付けを考えてもらう。そのため